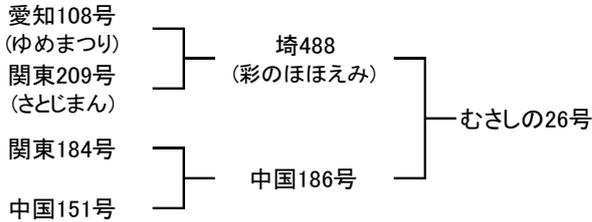


水稻有望系統「むさしの26号」について

1 系譜



むさしの26号の草姿

2 特性概要

- (1) 「彩のみのり」と出穂期および成熟期は同程度で、埼玉県では中晩生種。
- (2) 「彩のみのり」より稈長は10 cm、穂長は1 cm 長く、穂数は10%少ない「偏穂重型」。
- (3) 千粒重は22g程度で大粒、収量は「彩のみのり」より10%多収。
- (4) 高温耐性は「やや強～強」で高温条件でも品質の低下が小さい。
- (5) 耐倒伏性は「中」で「彩のみのり」より倒伏しやすい。
- (6) 縞葉枯病抵抗性 (*Stvb-i*)、穂いもち圃場抵抗性 (*Pbl*) を持つ。
- (7) 食味は玄米タンパク質含量が低く、味度値が高い。

■ むさしの26号 □ 彩のみのり □ 朝の光

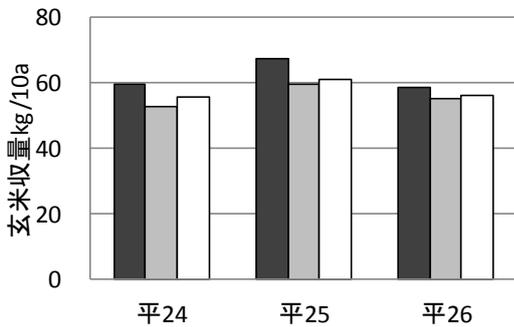


図1 年次ごとの収量(早植栽培)

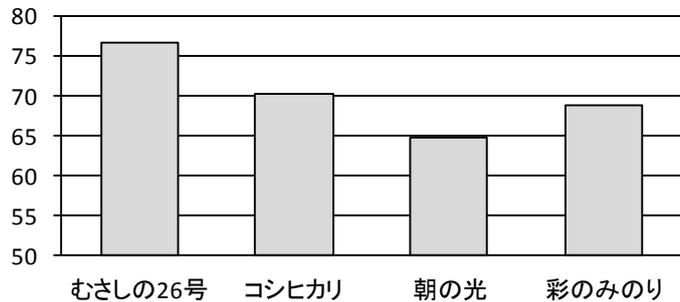


図2 味度値(平23~26の平均)



むさしの26号

彩のみのり

写真1 高温障害を受けた平成25年産玄米

3 平成27年度の取り組み

奨励品種決定現地調査(3年目)を県内8か所で実施し、県内各地での適応性を検討する予定である。